吹浦村の古記よ六月十五日渡出の祈年
に留守後社守護をそれし年あり又九月
又日矢嶋馬よ条仕の年あり貞運の記よ
祠官といふ古伝の話を以て出しおるへし
古記よは高倉とあり諸社よ留るありし
年大社考よ記そく八幡後大物忌神社へ年
納しる方日とて今井家よあり彼の日に
大物忌神社を勧請し一日免会あり一説
よは八幡宮ともいふ別当を神政院といふ
昔代以前の由伝ハ吹浦を者家の廃るまて
古来ハ神職なりしとそ二月初る日吹浦
村の社家古祥狗子沼を渡を神政院を止
者とし今井家を神事始とを彼方日の事
元文年中吉田後より上ら様へも云上し
ものの事ありしとそ今井家の伝曰八幡後
安信豊を後代の附大物忌神社へ移新し
ものの事ありしに霊験ありて城流を亡し
後体しものの沢吹浦村よおいて者祷の賽も
年高れ逆の原を弓形ものしに出るおを
を囲めて古て海を以附大物忌神社へ者祷